

柏市立柏病院 中期構想策定に係る市民アンケート調査  
—集計分析結果—

【調査対象】 柏市の住民基本台帳から 20 代以上の市民 2,000 人を無作為抽出

【調査方法】 郵送による配布・回収

【調査期間】 平成 24 年 7 月 13 日～7 月 31 日

【回収数（回収率）】 842 票（42.1%）

| 地域           | 配布数   | 回収数 | 回収率   |
|--------------|-------|-----|-------|
| 北部           | 453   | 175 | 38.6% |
| 中央           | 774   | 309 | 39.9% |
| 南部           | 773   | 316 | 40.9% |
| 計（無回答・無効票含む） | 2,000 | 842 | 42.1% |

【有効回答票数（有効回答票率）】 815 票（96.8%）

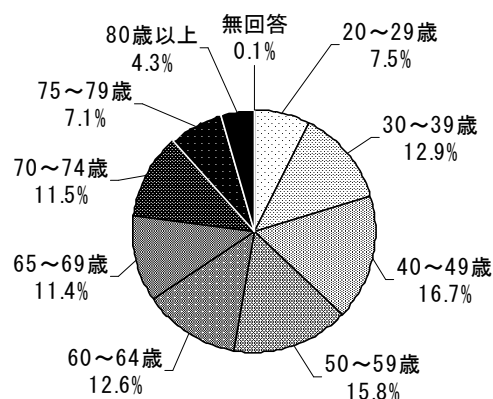
## ◆調査結果（単純集計）

### ◆回答者の属性

#### 【問 10】 年齢

『60 歳代』の占める割合が 24.0%と最も高く、次いで『70 歳代』となっている。『65 歳以上』の占める割合は 34.4%である。

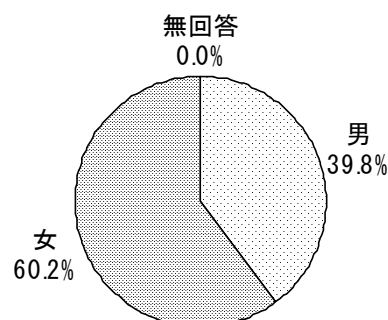
|   |        |      |        |
|---|--------|------|--------|
| 1 | 20～29歳 | 61人  | 7.5%   |
| 2 | 30～39歳 | 105人 | 12.9%  |
| 3 | 40～49歳 | 136人 | 16.7%  |
| 4 | 50～59歳 | 129人 | 15.8%  |
| 5 | 60～64歳 | 103人 | 12.6%  |
| 6 | 65～69歳 | 93人  | 11.4%  |
| 7 | 70～74歳 | 94人  | 11.5%  |
| 8 | 75～79歳 | 58人  | 7.1%   |
| 9 | 80歳以上  | 35人  | 4.3%   |
|   | 無回答    | 1人   | 0.1%   |
|   | 計      | 815人 | 100.0% |



#### 【問 11】 性別

「女性」の占める割合は約6割、「男性」は約4割となっている。

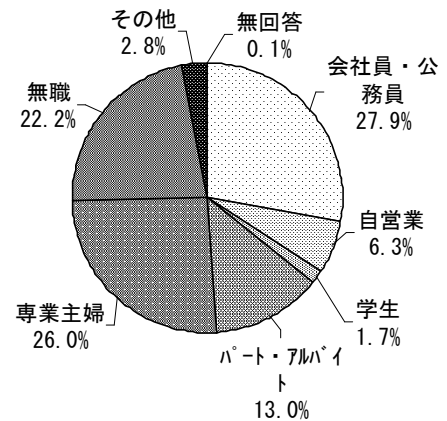
|   |     |      |        |
|---|-----|------|--------|
| 1 | 男   | 324人 | 39.8%  |
| 2 | 女   | 491人 | 60.2%  |
|   | 無回答 | 0人   | 0.0%   |
|   | 計   | 815人 | 100.0% |



### 【問 12】 職業

「会社員・公務員」の占める割合が 27.9%と最も高く、次いで「専業主婦」が 26.0%、「無職」が 22.2%となっている。

|   |           |      |        |
|---|-----------|------|--------|
| 1 | 会社員・公務員   | 227人 | 27.9%  |
| 2 | 自営業       | 51人  | 6.3%   |
| 3 | 学生        | 14人  | 1.7%   |
| 4 | パート・アルバイト | 106人 | 13.0%  |
| 5 | 専業主婦      | 212人 | 26.0%  |
| 6 | 無職        | 181人 | 22.2%  |
| 7 | その他       | 23人  | 2.8%   |
|   | 無回答       | 1人   | 0.1%   |
|   | 計         | 815人 | 100.0% |

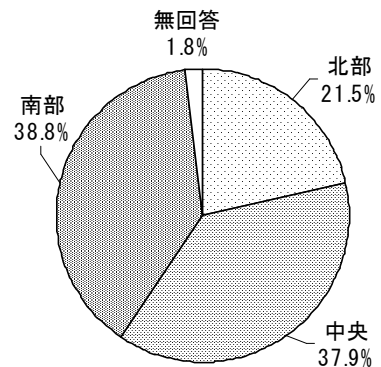


### 【問 13】 居住地

#### 【3区分】

「南部」の占める割合が 37.9%と最も高く、次いで「中央」が 37.9%、「北部」が 21.5%となっている。

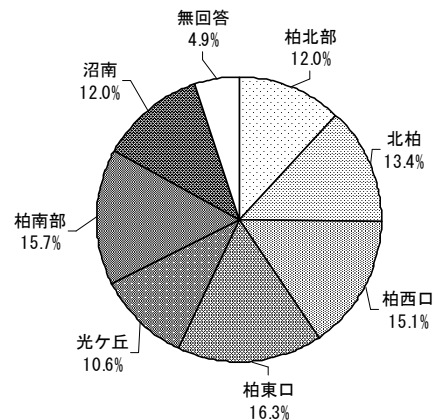
|   |     |      |        |
|---|-----|------|--------|
| A | 北部  | 175人 | 21.5%  |
| B | 中央  | 309人 | 37.9%  |
| C | 南部  | 316人 | 38.8%  |
|   | 無回答 | 15人  | 1.8%   |
|   | 計   | 815人 | 100.0% |



#### 【7区分】

「柏東口」の占める割合が 16.3%と最も高く、次いで「柏南部」が 15.7%、「柏西口」が 15.1%となっている。

|   |     |      |        |
|---|-----|------|--------|
| a | 柏北部 | 98人  | 12.0%  |
| b | 北柏  | 109人 | 13.4%  |
| c | 柏西口 | 123人 | 15.1%  |
| d | 柏東口 | 133人 | 16.3%  |
| e | 光ヶ丘 | 86人  | 10.6%  |
| f | 柏南部 | 128人 | 15.7%  |
| g | 沼南  | 98人  | 12.0%  |
|   | 無回答 | 40人  | 4.9%   |
|   | 計   | 815人 | 100.0% |

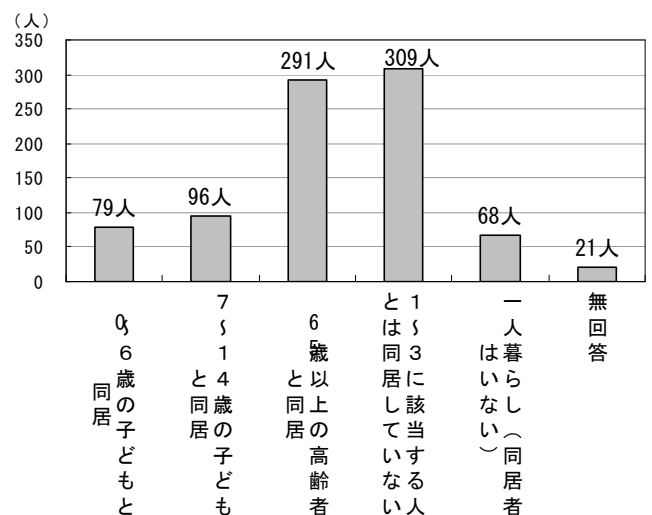


### 【問 14】 同居家族

「65歳以上の高齢者と同居」の占める割合は 35.7%、『14歳未満の子どもと同居』の占める割合は 21.5%となっている。

|   |                        |      |       |
|---|------------------------|------|-------|
| 1 | 0～6歳の子どもと同居            | 79人  | 9.7%  |
| 2 | 7～14歳の子どもと同居           | 96人  | 11.8% |
| 3 | 65歳以上の高齢者と同居           | 291人 | 35.7% |
| 4 | 「1」～「3」に該当する人とは同居していない | 309人 | 37.9% |
| 5 | 一人暮らし（同居者はいない）         | 68人  | 8.3%  |
|   | 無回答                    | 21人  | 2.6%  |

※割合は有効回答票(815人)に占める割合

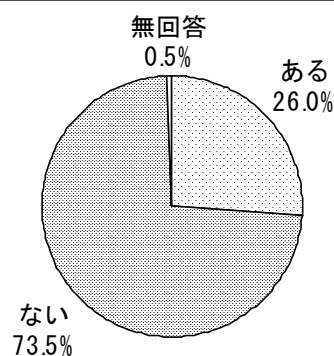


## ◆医療機関の利用状況

### 【問1】市立柏病院の受診の有無

市立柏病院を受診したことが「ある」方は、26.0%、「ない」方は73.5%となっている。

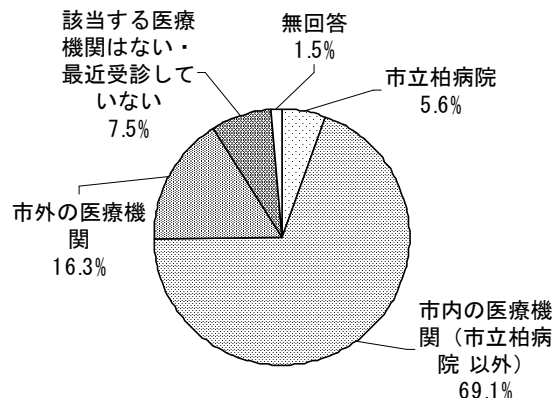
|   |     |      |        |
|---|-----|------|--------|
| 1 | ある  | 212人 | 26.0%  |
| 2 | ない  | 599人 | 73.5%  |
|   | 無回答 | 4人   | 0.5%   |
|   | 計   | 815人 | 100.0% |



### 【問2】よく受診する医療機関

「市内の医療機関（市立柏病院以外）」が69.1%と最も高く、次いで「市外の医療機関」の16.3%となっている。「市立柏病院」の占める割合は5.6%である。

|   |                       |      |        |
|---|-----------------------|------|--------|
| 1 | 市立柏病院                 | 46人  | 5.6%   |
| 2 | 市内の医療機関（市立柏病院 以外）     | 563人 | 69.1%  |
| 3 | 市外の医療機関               | 133人 | 16.3%  |
| 4 | 該当する医療機関はない・最近受診していない | 61人  | 7.5%   |
|   | 無回答                   | 12人  | 1.5%   |
|   | 計                     | 815人 | 100.0% |

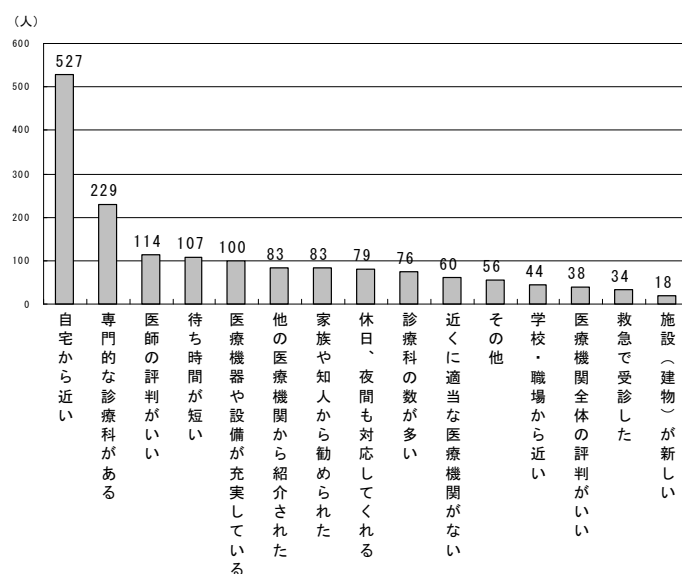


### 【問3】よく受診する医療機関（問2）を選んだ理由

「自宅から近い」の占める割合が64.7%と最も高く、次いで「専門的な診療科がある」の28.1%、「医師の評判がいい」の14.0%となっている。

|    |                |      |       |
|----|----------------|------|-------|
| 1  | 自宅から近い         | 527人 | 64.7% |
| 2  | 学校・職場から近い      | 44人  | 5.4%  |
| 3  | 専門的な診療科がある     | 229人 | 28.1% |
| 4  | 診療科の数が多        | 76人  | 9.3%  |
| 5  | 医療機器や設備が充実している | 100人 | 12.3% |
| 6  | 施設（建物）が新しい     | 18人  | 2.2%  |
| 7  | 医師の評判がいい       | 114人 | 14.0% |
| 8  | 医療機関全体の評判がいい   | 38人  | 4.7%  |
| 9  | 他の医療機関から紹介された  | 83人  | 10.2% |
| 10 | 家族や知人から勧められた   | 83人  | 10.2% |
| 11 | 休日、夜間も対応してくれる  | 79人  | 9.7%  |
| 12 | 救急で受診した        | 34人  | 4.2%  |
| 13 | 近くに適切な医療機関がない  | 60人  | 7.4%  |
| 14 | 待ち時間が短い        | 107人 | 13.1% |
| 15 | その他            | 56人  | 6.9%  |

※割合は有効回答票(815人)に占める割合



### 「15. その他」の内容（主なもの）

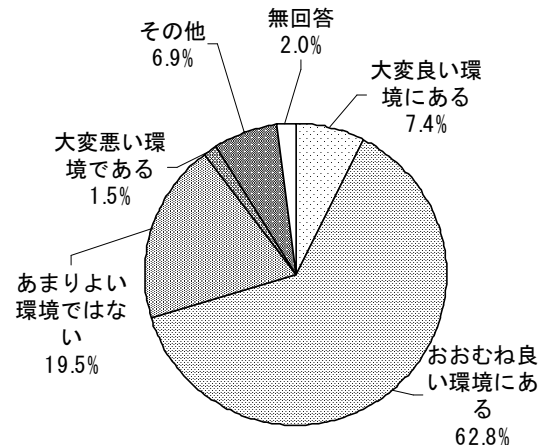
- ・ 医師の説明が丁寧・信頼できる（12人）
- ・ 以前から通院している（10人）
- ・ 駅やバス停から近い（5人）
- ・ 家族が受診している（4人）
- ・ 駐車スペースが広い（3人）
- ・ 人間ドッグを受けたことがあったから（2人）

## ◆柏市の医療環境について

### 【問4】市の医療環境をどのように感じているか

「おおむね良い環境にある」の占める割合が62.8%と最も高い。約7割が『良い環境にある』と感じており、約2割が『悪い環境である』と感じている。

|               |      |        |
|---------------|------|--------|
| 1 大変良い環境にある   | 60人  | 7.4%   |
| 2 おおむね良い環境にある | 512人 | 62.8%  |
| 3 あまりよい環境ではない | 159人 | 19.5%  |
| 4 大変悪い環境である   | 12人  | 1.5%   |
| 5 その他         | 56人  | 6.9%   |
| 無回答           | 16人  | 2.0%   |
| 計             | 815人 | 100.0% |



### 「3. あまりよい環境ではない」理由（主なもの）

- ・待ち時間が長い（39人）
- ・交通の便が悪い。駅から遠い（21人）
- ・救急医療が充実していない（9人）
- ・近くの病院がない、病院数が少ない（8人）
- ・施設や医療機器が古い、整っていない（5人）
- ・産科が少ない、充実していない（4人）
- ・評判のいい病院があまりない（11人）
- ・受診したい診療科がない、少ない（皮膚科、耳鼻科等）（8人）
- ・小児科が少ない、夜間に診察してくれる小児科がない（6人）
- ・医師や看護師等の対応が悪い（5人）

### 「4. 大変悪い環境である」理由（主なもの）

- ・待ち時間が長い（5人）
- ・南部に総合病院がない（2人）
- ・夜間休日に全く対応してくれない
- ・交通の便が悪い（2人）
- ・産婦人科が少ない
- ・信頼できない

### 「5. その他」の内容（主なもの）

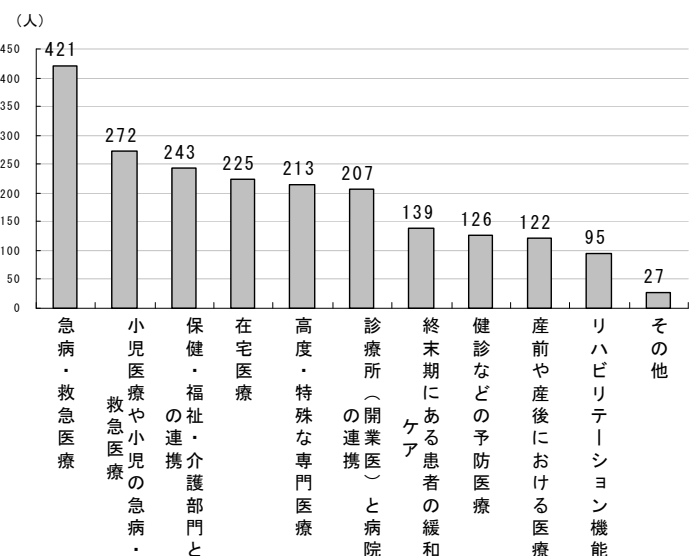
- ・利用したことがない・少ないのでわからない（25人） ※うち市内を利用しないとからという人は9人
- ・考えたことがない（2人）
- ・総合病院は北部に多い気がして、遠いため利用しづらい

### 【問5】今後の地域医療に必要なこと（複数回答）

「急病・救急医療」の占める割合が51.7%と最も高く、他を大きく離している。次いで33.4%の「小児医療や小児の急病・救急医療」、29.8%の「保健・福祉・介護部門との連携」、27.6%の「在宅医療」などが次の第2位グループ群を形成している。「産前産後における医療」が最下位から3番目となっている。

|                   |      |       |
|-------------------|------|-------|
| 1 急病・救急医療         | 421人 | 51.7% |
| 2 小児医療や小児の急病・救急医療 | 272人 | 33.4% |
| 3 産前や産後における医療     | 122人 | 15.0% |
| 4 高度・特殊な専門医療      | 213人 | 26.1% |
| 5 在宅医療            | 225人 | 27.6% |
| 6 終末期にある患者の緩和ケア   | 139人 | 17.1% |
| 7 リハビリテーション機能     | 95人  | 11.7% |
| 8 診療所（開業医）と病院の連携  | 207人 | 25.4% |
| 9 保健・福祉・介護部門との連携  | 243人 | 29.8% |
| 10 健診などの予防医療      | 126人 | 15.5% |
| 11 その他            | 27人  | 3.3%  |

※割合は有効回答票(815人)に占める割合



### 「11. その他」の内容（主なもの）

- ・特にない（4人）
- ・障害者医療の充実（3人）
- ・精神科医療の充実（2人）
- ・年金生活の高齢者が受診できる高額ではない医療（2人）

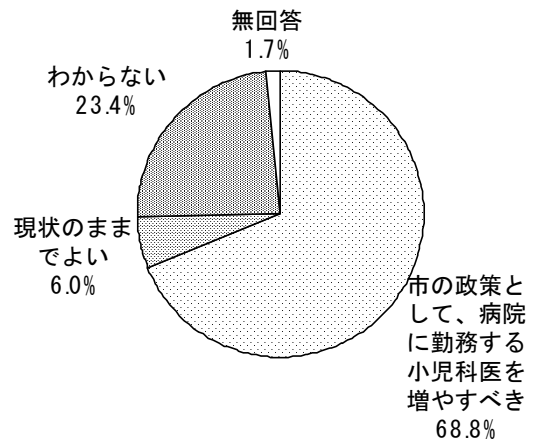
- ・ 24時間対応の病院
- ・ 外国が話せる専門医

- ・ 休日や夜間の救急医療
- ・ 医師の教育

#### 【問6】小児医療について

「市の政策として、病院に勤務する小児科医を増やすべき」の占める割合は68.8%、「現状のままでよい」は6.0%である。また、「わからない」の占める割合は23.4%である。

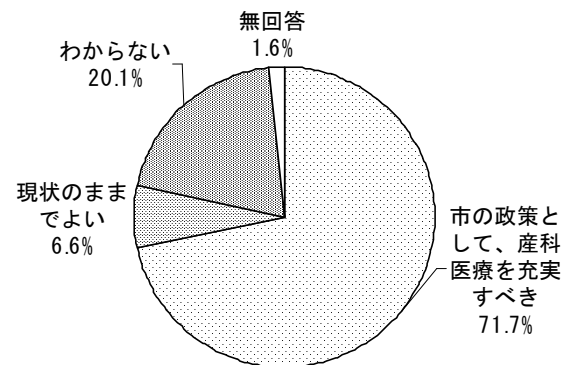
|   |                           |      |        |
|---|---------------------------|------|--------|
| 1 | 市の政策として、病院に勤務する小児科医を増やすべき | 561人 | 68.8%  |
| 2 | 現状のままでよい                  | 49人  | 6.0%   |
| 3 | わからない                     | 191人 | 23.4%  |
|   | 無回答                       | 14人  | 1.7%   |
|   | 計                         | 815人 | 100.0% |



#### 【問7】産科医療について

「市の政策として、産科医療を充実すべき」の占める割合は71.7%、「現状のままでよい」は6.6%である。また、「わからない」の占める割合は20.1%である。

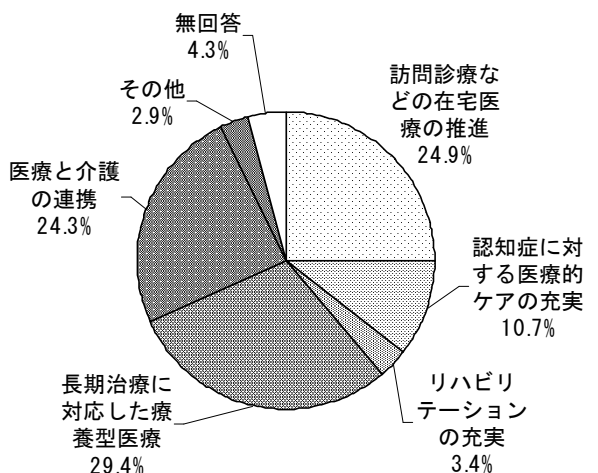
|   |                    |      |        |
|---|--------------------|------|--------|
| 1 | 市の政策として、産科医療を充実すべき | 584人 | 71.7%  |
| 2 | 現状のままでよい           | 54人  | 6.6%   |
| 3 | わからない              | 164人 | 20.1%  |
|   | 無回答                | 13人  | 1.6%   |
|   | 計                  | 815人 | 100.0% |



#### 【問8】今後の高齢者医療に必要なことについて

「長期治療に対応した療養型医療」の占める割合は29.4%と最も高く、次いで「訪問診療などの在宅医療の推進」の24.9%、「医療と介護の連携」の24.3%となっている。

|   |                 |      |        |
|---|-----------------|------|--------|
| 1 | 訪問診療などの在宅医療の推進  | 203人 | 24.9%  |
| 2 | 認知症に対する医療的ケアの充実 | 87人  | 10.7%  |
| 3 | リハビリテーションの充実    | 28人  | 3.4%   |
| 4 | 長期治療に対応した療養型医療  | 240人 | 29.4%  |
| 5 | 医療と介護の連携        | 198人 | 24.3%  |
| 6 | その他             | 24人  | 2.9%   |
|   | 無回答             | 35人  | 4.3%   |
|   | 計               | 815人 | 100.0% |



#### 「6. その他」の内容（主なもの）

- ・ 高齢者より小児・産科に力を入れる（2人）
- ・ 健康生活のPR
- ・ 送迎の充実
- ・ 一人ひとりが満足できる相談員のいる病院が良い
- ・ 治療見込みのない高齢者に対する検査等無駄な医療をなくす事
- ・ 高齢者に対する高度で高額な医療より、納得する最期を迎えさせてほしい。
- ・ 予防医療（2人）
- ・ 高齢者を働けるようにする医療
- ・ 介護士の労働環境の改善
- ・ 財政面からの対応

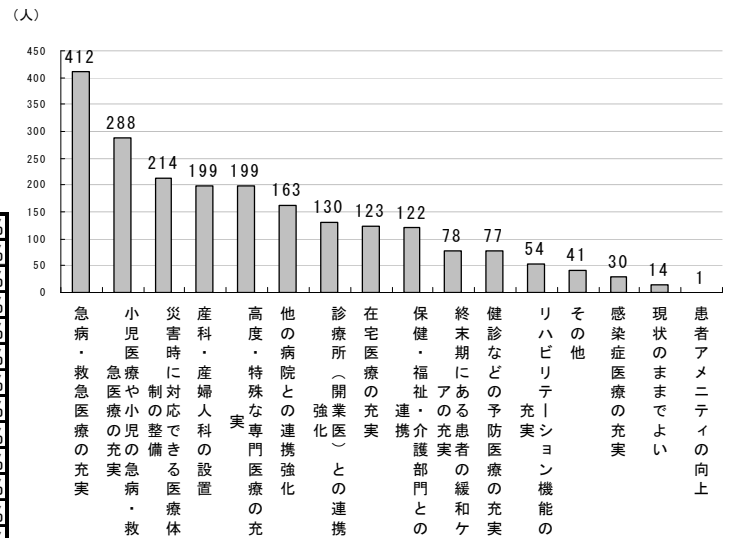
## ◆これからの市立柏病院について

### 【問 9】今後の市立柏病院の役割、必要なこと

「急病・救急医療の充実」の占める割合が 50.6%と最も高く、次いで「小児医療や小児の急病・救急医療の充実」の 35.5%、「災害時に対応できる医療体制の整備」の 26.3%となっている。

|    |                    |      |       |
|----|--------------------|------|-------|
| 1  | 急病・救急医療の充実         | 412人 | 50.6% |
| 2  | 小児医療や小児の急病・救急医療の充実 | 288人 | 35.3% |
| 3  | 産科・産婦人科の設置         | 199人 | 24.4% |
| 4  | 災害時に対応できる医療体制の整備   | 214人 | 26.3% |
| 5  | 高度・特殊な専門医療の充実      | 199人 | 24.4% |
| 6  | 在宅医療の充実            | 123人 | 15.1% |
| 7  | 終末期にある患者の緩和ケアの充実   | 78人  | 9.6%  |
| 8  | リハビリテーション機能の充実     | 54人  | 6.6%  |
| 9  | 感染症医療の充実           | 30人  | 3.7%  |
| 10 | 診療所（開業医）との連携強化     | 130人 | 16.0% |
| 11 | 他の病院との連携強化         | 163人 | 20.0% |
| 12 | 保健・福祉・介護部門との連携     | 122人 | 15.0% |
| 13 | 健診などの予防医療の充実       | 77人  | 9.4%  |
| 14 | 患者アメニティの向上         | 1人   | 0.1%  |
| 15 | 現状のままでよい           | 14人  | 1.7%  |
| 16 | その他                | 41人  | 5.0%  |

※割合は有効回答票(815人)に占める割合



### 「16. その他」の内容（主なもの）

- ・通院手段の確保、アクセスの改善（4人）
- ・耳鼻科
- ・休日夜間も常時受診できるようにする（特に小児）
- ・予防接種専門の医療機関があるといい
- ・セカンドオピニオンの提供
- ・高額医療費の無駄をなくす（診断画像のコピーを患者に渡すなど）
- ・老人医療部門としての独立
- ・医師・看護師の高度の診療
- ・放射能関連
- ・今後の役割はなし、民間に任せるべき
- ・他院への紹介機能

## ◆自由回答

### ◇小児医療や小児の急病・救急医療について

| 年代          | 20～29 歳     | 30～39 歳       | 40～49 歳       | 50～59 歳       | 60～64 歳     | 65～69 歳     | 70～74 歳      | 75～74 歳     | 80 歳以上      | 無回答         | 計             |
|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 回答数<br>(構成) | 5<br>(4.3%) | 26<br>(22.4%) | 32<br>(27.6%) | 16<br>(13.8%) | 8<br>(6.9%) | 9<br>(7.8%) | 10<br>(8.6%) | 4<br>(3.4%) | 3<br>(2.6%) | 3<br>(2.6%) | 116<br>(100%) |

※65 歳以上 22.4%

小児は夜間の急な発熱等が多く、かつ手当てが遅れると命に関わるリスクが大人よりも高いため、夜間・休日の小児救急を充実させてほしいという意見が最も多い。また、子どもの急病時に休日当番や救急病院に電話しても、小児科医が不在という理由で断れたという実体験や、受診することができても混雑しており、待ち時間が長い場合の悪い子どもにとって負担が大きいという意見も複数あり、小児救急医療体制の整備を望む声は多い。その役割については、リスクや採算性から民間病院で対応できない分野であるなら、公立病院が担うべきと意見が多い。

その他、未来のある子どものため、市の発展のためにも、小児医療を充実させ、若い世代が安心して子育てできる医療環境を整えてほしいという意見も多くあった。

上記以外には以下のような意見もあった。

- ・ 安全・安心・子育てを市政で表すには、産婦人科・小児の充実が必要。子どもには未来があるので、是非実現してほしい。
- ・ 病院で全てを対応することは無理だと思うので、開業医と連携し、かかりつけ医制度の推進・定着を図ってもらいたい。民間病院との連携も大切。
- ・ 日中受診し、夕方再度不調になった時に「別の病院を紹介する」と小児科担当医に言われたが、全く引き継がれておらず、病院も紹介してもらえなかったことがある。せめて対応してくれる病院を紹介してほしい。
- ・ 柏病院に小児科ができ大変助かっている。しかし、交通の便は良くないので、シャトルバスを設置するなど「足」を確保し、「使われる」病院になってほしい。
- ・ 現状、慈恵医大附属病院は飽和状態になりつつあることを考えれば、市立柏病院の拡張・充実は必須である。
- ・ 急病や救急時に、病院に連れて行く、救急車を呼ぶべきか相談できる窓口がほしい。
- ・ 急病時の電話（#〇〇〇〇）はつながりにくく、市内で利用できる相談窓口がほしい。
- ・ 救急を受け入れると言っている、小児は千葉西しか常時診てくれない。こんな街には子育て世代は住みたくないと思う。

### ◇産前や産後における医療について

| 年代          | 20～29 歳     | 30～39 歳       | 40～49 歳       | 50～59 歳       | 60～64 歳     | 65～69 歳     | 70～74 歳     | 75～74 歳     | 80 歳以上      | 無回答          | 計            |
|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 回答数<br>(構成) | 7<br>(7.4%) | 18<br>(19.1%) | 24<br>(25.5%) | 18<br>(19.1%) | 7<br>(7.4%) | 5<br>(5.3%) | 7<br>(7.4%) | 3<br>(3.2%) | 2<br>(2.1%) | 3<br>(43.2%) | 94<br>(100%) |

※65 歳以上 18.0%

分娩施設の充実を望む声がほとんどあり、市立柏病院に産科を設置してほしいという意見も多い。市内の分娩施設が少ないことにより、大変混雑しており、待ち時間が長く妊婦にとっては負担が大きいという意見も多い。また、市内の分娩施設は柏市の一地区に集中しているため、通院にかかる時間も長く、市内にバランスよく立地するように誘導してほしい、もっと近くに分娩施設があるいいという意見も複数あった。

その他、以下のような意見もあった。

- ・ 子どもを産んだ病院に、小児科がないところが多い。医療の連携がないように感じる。
- ・ 高齢出産でも安心して出産できる体制整備を希望する。

- ・ 市立柏病院で（産婦人科を）重点的に行うなら、もっと明るく、廊下等も広げてほしい。母親を見舞う子どもの事も考えると、今のままでは不適切である。
- ・ 分娩は病気ではないので、特殊な状況以外は、助産師に分業すればいいと思う。出産する側の一つの選択肢として必要だと思う。

## ◇高齢者医療について

| 年代          | 20～29 歳     | 30～39 歳       | 40～49 歳       | 50～59 歳       | 60～64 歳       | 65～69 歳      | 70～74 歳       | 75～74 歳       | 80 歳以上      | 無回答         | 計             |
|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|-------------|-------------|---------------|
| 回答数<br>(構成) | 8<br>(5.0%) | 16<br>(10.0%) | 28<br>(17.5%) | 24<br>(15.0%) | 16<br>(19.0%) | 15<br>(9.4%) | 21<br>(13.1%) | 18<br>(11.3%) | 6<br>(3.8%) | 8<br>(5.0%) | 160<br>(100%) |

※65 歳以上 37.3%

高齢化により、高齢者医療の充実を望む意見が多い。中でも訪問診療や在宅医療、予防医療の強化を求める意見が多い。その他、認知症対策や長期療養型の医療を求める意見もあった。

また、高齢者の通院手段の確保を求める意見も多く、送迎バスや巡回タクシー等の運行が望まれている。中には、市立柏病院に通院したくても、交通手段が悪く通院できない、不便であるという意見も複数あった。

その他、以下のような意見もあった。

- ・ 民間病院等と連携を図るべき。
- ・ 相談体制を充実してほしい。
- ・ ホスピス病棟があったらよいと思う。
- ・ 医療費負担を抑えてほしい。
- ・ 高齢になると複数の診療科にかかるようになるので、総合的に診てもらえる診療部門があると助かる。
- ・ 高齢者医療のコスト、現状を説明し、市民が理解するように努めてほしい。

## ◇その他

| 年代          | 20～29 歳     | 30～39 歳       | 40～49 歳       | 50～59 歳       | 60～64 歳       | 65～69 歳      | 70～74 歳       | 75～74 歳     | 80 歳以上      | 無回答         | 計             |
|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 回答数<br>(構成) | 7<br>(4.0%) | 23<br>(13.1%) | 32<br>(18.2%) | 33<br>(18.8%) | 18<br>(10.2%) | 16<br>(9.1%) | 25<br>(14.2%) | 9<br>(5.1%) | 7<br>(4.0%) | 6<br>(3.4%) | 176<br>(100%) |

※65 歳以上 32.4%

### 【市立柏病院に関する意見】

（複数意見）※概ね3人以上

- ・ 予約をしても待ち時間が長すぎるため、改善してほしい。
- ・ 交通アクセスや立地が不便なため、通院できない（したくない）。
- ・ 高齢者も通院できるよう送迎バスを運行してほしい。
- ・ 民間病院とは違った公立病院としての役割を担ってほしい。
- ・ 施設の老朽化が目立つので、移転も含めて建替えを希望する。建物（雰囲気）が暗い。清潔さを感じない。
- ・ 市北部に立地しているため、認知度が低い。PR不足。

（その他）

- ・ 正面玄関に救急車がとまり、かつ乗降スペースも狭いため、車イスの方の送迎がしにくい。
- ・ 駐車場が狭い。
- ・ すべての年代に対応できる予防医療を含めて、医療施設の充実（ソフト・ハード両面）を図ってほしい。
- ・ 公立病院として広域ネットワークの拠点として近隣都県との連携を図ってほしい。（松戸市に近いので）松戸市と連携を図ってほしい。
- ・ 特定の地域だけをカバーしているため、市民が平等に利用できる医療機能に絞り、もっと充実をはかるべき。
- ・ 市内に成人の急病、救急医療の対応が不十分である。市立柏病院はその役割を果たすべき。

- ・ 高齢者ばかりで、そうでない人は行きづらいと感じた。
- ・ 総合診療科を設置してほしい。
- ・ 産科、婦人科、皮膚科、耳鼻科があるといい。
- ・ 松戸市民病院のように充実させてほしい。（小児救急など）
- ・ 市立柏病院があることを知らなかった
- ・ 市立柏病院は必要ない。必要性がわからない。（理由：利用者が特定地域に偏っており、公平性がないため。市内には設備のよい病院が多数ある。など）

【地域医療に対する意見】※対象が明確でないため、市立病院に対する意見が含まれる場合もある。

- ・ 終末期について意思表示できる仕組みがあるといい。
  - ・ 柏市周辺の交通事情が良くないので、南部地域は松戸市の大きい病院にかかることが多々ある。
  - ・ 開業医の高齢化が気になる。（特に小児科医）
  - ・ 救急医療を充実させてほしい。
  - ・ 夜間や休日の診療を充実してほしい。
  - ・ 高齢者医療も大切だが、小児医療や産前・産後の医療に力を入れなければ、人口減少に歯止めがかからない。そこに力を入れていくべき。
- 
- ・ 調査結果を広報で公表してほしい。

## ◆分析結果

今回の市民アンケート調査は、医療や市立病院についての意見を聞いており、回答者がその医療の受益を受けるか否か、年齢や性別などの回答者の属性によってその意見が異なることが考えられるため、問10～問14の回答者の属性を中心にクロス分析を行った。

その結果、性別や居住地に関してはあまり大きな差はなく、回答者の年齢や同居家族によって意見が異なることがわかった。但し、同居家族は回答者の現時点の状況による区分となっているため、中長期的な将来ニーズを探るには、年齢による意見の相違を見ることが有益と考えられる。

さらに、地域医療の底上げを目指すためには、問4の地域医療についてどう感じているかの設問も重要となる。

問4と年齢（問10）のクロス集計の結果から、若い世代ほど悪い環境と感じている傾向があったことから、今後の地域医療及び市立病院に対するニーズを探るために、問5～9の設問について、問4と年齢（問10）のトリプルクロス分析を行った。

※なお、分析結果をわかりやすく示すために、問4については、「大変よい環境にある」「おおむねよい環境にある」の合計を『良い環境である』、「大変悪い環境である」「おおむね悪い環境である」の合計を『悪い環境である』と示している。

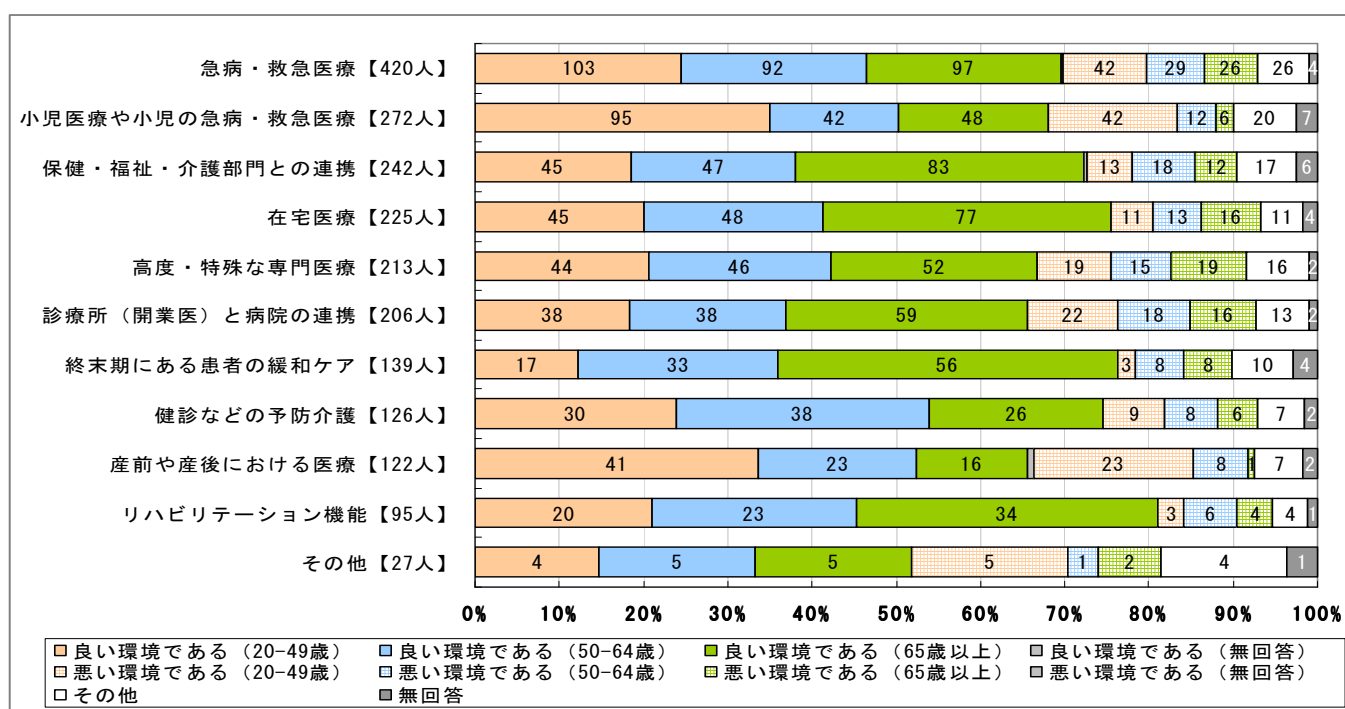
### 【問5】今後の地域医療に必要なこと（問5×問10×問4）

下図は、単純集計の結果を上から降順に示している。

項目別に見ると、「診療所（開業医）と病院の連携」「産前や産後における医療」は全体的な回答者数がそれほど多くないものの、“悪い環境である”と感じている方の占める割合が高くなっている。特に「産前や産後における医療」については、“悪い環境である”と感じている“20～49歳”の占める割合が高くなっている。

また、「小児医療や小児の急病・救急医療」については、“悪い環境である”と感じている方の中でも“20～49歳”の占める割合が高くなっている。

なお、“良い環境”“悪い環境”に関わらず、「小児医療や小児の急病・救急医療」「産前や産後における医療」は“20～49歳”の占める割合が高く、「保健・福祉・介護部門との連携」「在宅医療」などの高齢者医療に関連する項目は、“65歳以上”の占める割合が高くなっており、年代別に見ると、本人もしくは身近な家族に関連する項目のニーズが高いことが伺える。

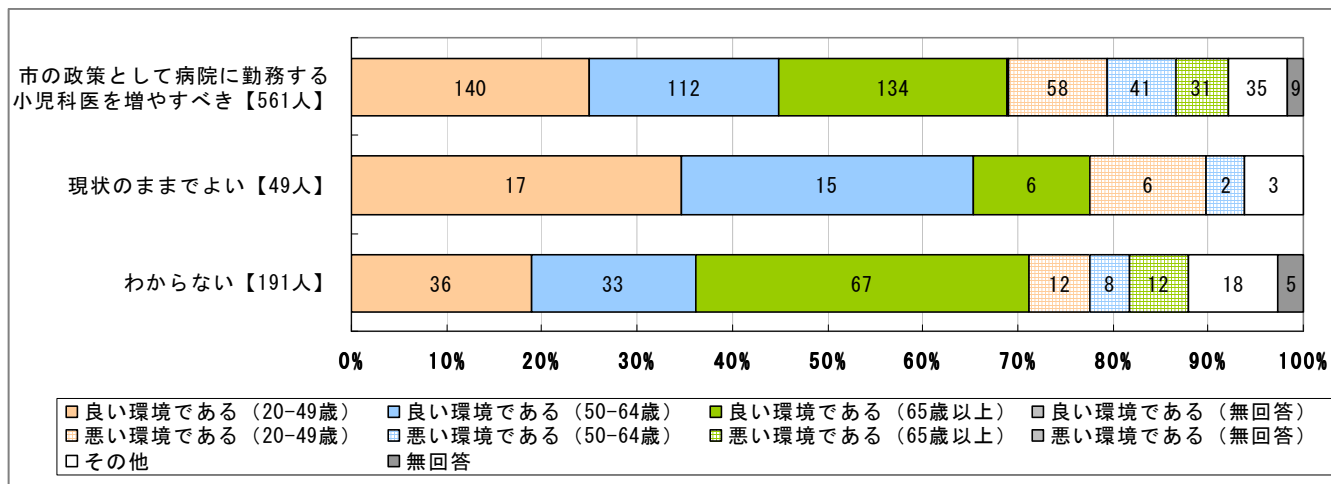


【問6】小児医療について（問6×問10×問4）

「市の政策として増やすべき」は、他の選択肢よりも“悪い環境である”の占める割合が高くなっており、年齢構成を見ると、年齢が若くなるほど、その割合は高くなっている。

一方、「現状のままでよい」を見ると、“悪い環境である”の占める割合は低くなっている。また、“良い環境”“悪い環境”ともに“20～49歳”の占める割合が高くなっているが、実数は合計で23人と少数である。「わからない」と回答した方は、“65歳以上”の占める割合が高くなっている。

小児医療については、全体の約7割が「市の政策として増やすべき」と回答しており、年代による若干の差はあるものの、どの年代においても増やすべきと感じていることが伺える。

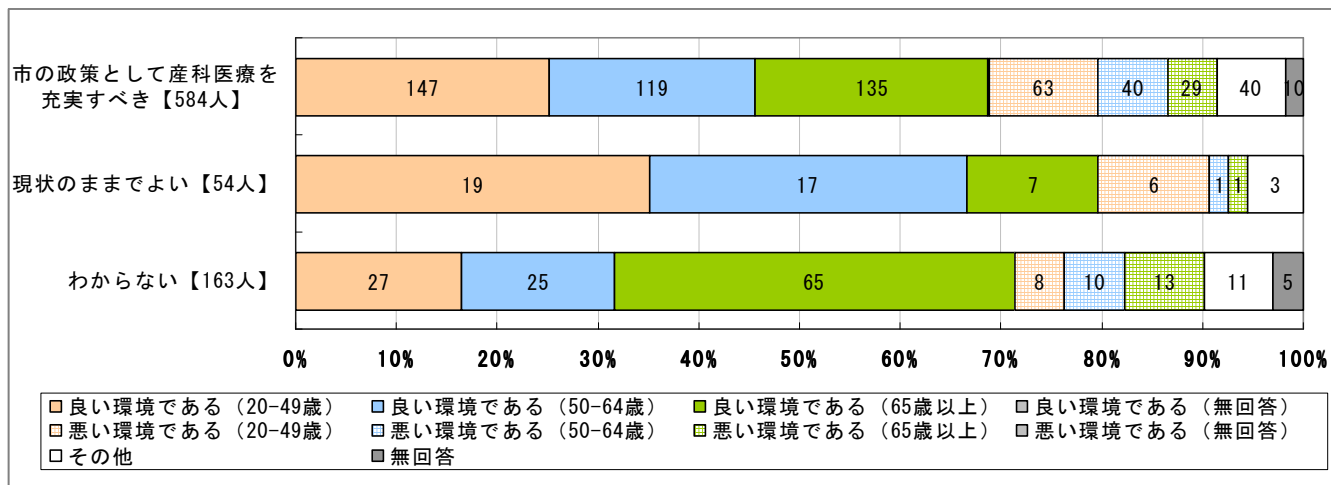


【問7】産科医療について（問7×問10×問4）

「市の政策として充実すべき」は、他の選択肢よりも“悪い環境である”の占める割合が高くなっており、年齢構成を見ると、年齢が若くなるほど、その割合は高くなっている。

一方、「現状のままでよい」を見ると、“悪い環境である”の占める割合は低くなっている。また、“良い環境”“悪い環境”ともに“20～49歳”の占める割合が高くなっているが、実数は合計で25人と少数である。「わからない」と回答した方は、“65歳以上”の占める割合が高くなっている。

産科医療についても、前述の小児医療と同様の傾向であり、全体の約7割が「市の政策として充実すべき」と回答しており、年代による若干の差はあるものの、どの年代においても充実すべきと感じていることが伺える。



【問8】高齢者医療について（問8×問10×問4）

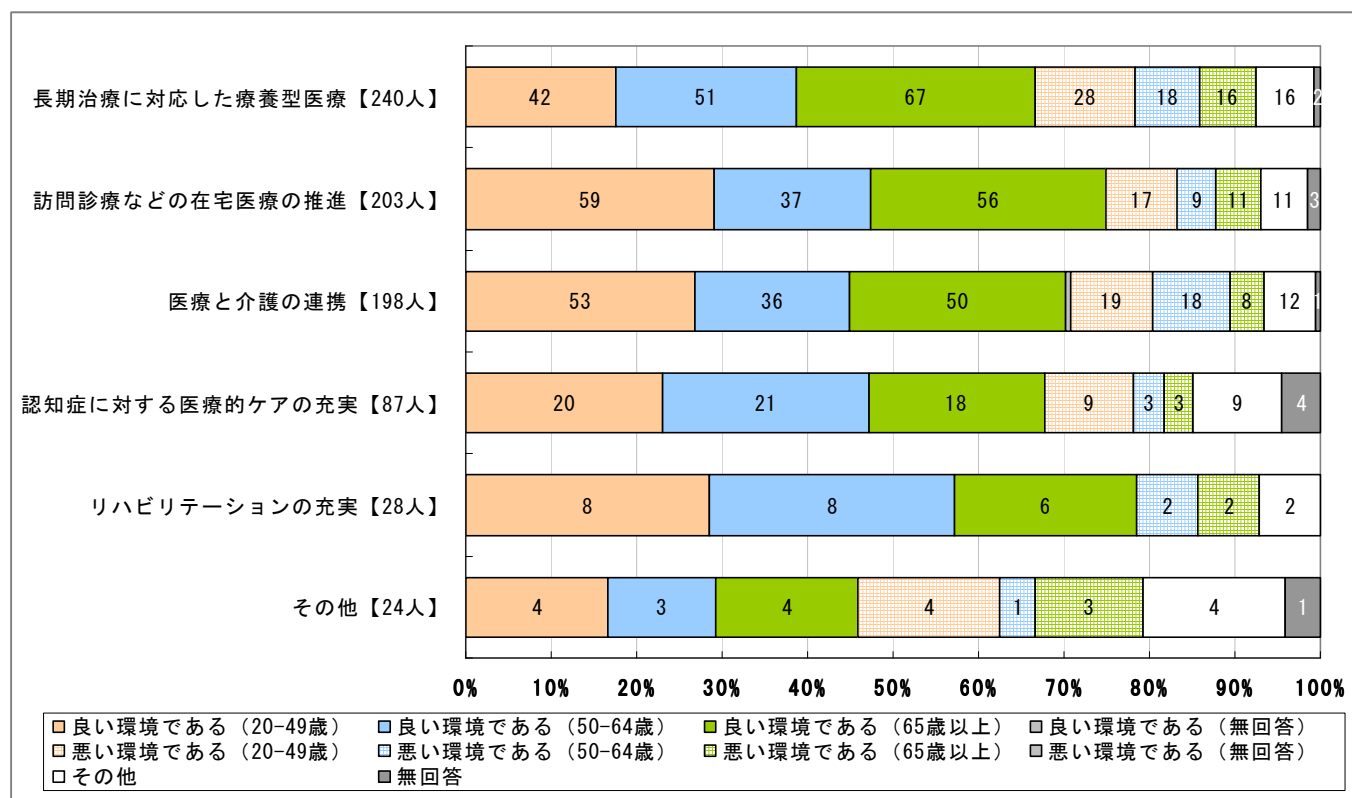
下図は、単純集計の結果を上から降順に示している。

項目別に見ると、「訪問診療などの在宅医療の推進」は実数としては2番目に多い項目であるが、“良いと環境である”の占める割合が高くなっている。特に、“良い環境である”の“20～49歳”の占める割合が高い。

全体としての回答者数が最も多い「長期医療に対応した療養型医療」は、“良い環境である”は年齢が上がるほど占める割合高くなっている一方で、“悪い環境である”は年齢が上がるほど占める割合が低くなっている。

国等が目指している在宅医療の推進や医療と介護の連携などは、若い世代の意見と比較的合致している（浸透している）一方で、当事者である高齢者のニーズは療養型医療にあることが伺える。

長期療養型医療を望む声と、在宅医療を望む声が、ほぼ拮抗していることに、現在の高齢者医療福祉政策の難しさを示す結果となっている。



【問9】今後の市立柏病院の役割、必要なこと（問9×問10×問4）

下図は、単純集計の結果を上から降順に示している。

項目別に見ると、「小児医療や小児の急病・救急医療」「高度・特殊な専門医療の充実」「診療所（開業医）との連携強化」は“悪い環境である”の占める割合が若干ではあるが高くなっている。

「その他」等を除いて“良い環境”“悪い環境”の構成比は、若干の差はあるもの、傾向が大きく異なっている項目は見られない。さらに年代別に見た場合、「診療所（開業医）との連携強化」は、“良い環境である”では年齢が上がるほど占める割合が高くなっている一方で、“悪い環境である”では“20～49歳”の占める割合が高くなっている。

なお、問5（今後の地域医療に必要なこと）と同様に、“良い環境”“悪い環境”に関わらず、「小児医療や小児の急病・救急医療の充実」「産科・産婦人科の設置」は“20～49歳”の占める割合が高く、「在宅医療の充実」「終末期にある患者の緩和ケアの充実」などの高齢者医療に関連する項目は、“65歳以上”の占める割合が高くなっており、本人もしくは身近な家族に関連する項目のニーズが高いことが伺える。

「急病・救急医療の充実」「災害時に対応できる医療体制の充実」「高度・特殊な専門医療の充実」などは、年代別の構成比がおおむね同じになっている。

